

●口腔内を撮影できる小型カメラ

モリタ ペンスコープ

●小型なので、手軽に撮影でき、すぐその場で

●撮ったものをモニター画面で見る事ができます。



患者様自身が普段見えない所を見る事ができるので…

- ・歯磨きができない等が把握できるようになる。
- ・見えにくい所にできた虫歯を自分で見る事ができる。
- ・治療前、治療中、治療後等、経過を見る事ができる。

その他、明るく鮮明に大きく写す事ができるので、根の治療や複雑な処置などを、より的確に行ないやすくなります。



SC(スケーリング)



歯の表面に付いた歯石を、超音波の振動で除去します。その時に熱が発生するので、その熱を冷ます為に水が出ます。水を使うのはその為です。

また、チップ（金属）の先が歯や歯石に触れる事で、キーンという音が発生します。痛そうな音ですが、あくまで超音波の振動で、歯の表面に付いた歯石を取り除いているだけですので、歯が削れたりする事はありません。

このように歯石を除去し（スケーリング）、ご自宅でも歯磨きを頑張っていただきます。そうすると、だいたい2週間位で歯肉が引き締まって元に戻ります。

2週間後に、歯肉が元に戻った状態で、1回目と同じ検査をもう一度行ないます。（※そよかぜだより7・8回参照）

この時点では、歯肉も引き締まっている場合は、あとは3ヶ月ごとの定期検診で経過を見たり、お掃除をしてこの状態を保ちます。

しかし、歯肉が引き締まる事で今まで隠れていたむし歯や、歯肉の中にある歯石が出てくる場合があります。歯の表面に付着した歯石を、スケーラーという機械で除去する「スケーリング」に対し、歯肉の中にある歯石はハンドスケーラーという手用の器具で除去していきます。これが「スケーリング・ルートフレーニング」です。

院長より

歯科の二大疾患のひとつ歯周病要因の歯石除去法についてまとめてました。一般に歯石を取るとしみるという方がおられます。それは歯周炎が進んでしまって、本来露出していない歯根面が露出する為におこる現象と言われています。しかし現在では痛みない除石法もあり、さらに術後の知覚過敏も抑える薬剤も最近使用されています。

このことからもしみるのを怖がって歯石を取らないのではないかと心配していただけます。（よくある質問であるため。）

この時点で、歯肉も引き締まっている場合は、あとは3ヶ月ごとの定期検診で経過を見たり、お掃除をしてこの状態を保ちます。

しかし、歯肉が引き締まる事で今まで隠れていたむし歯や、歯肉の中にある歯石が出てくる場合があります。

歯の表面に付着した歯石を、スケーラーという機械で除去する「スケーリング」に対し、歯肉の中にある歯石はハンドスケーラーという手用の器具で除去していきます。これが「スケーリング・ルートフレーニング」です。

いよいよ寒くなってきたね。季節性インフルエンザや新型インフルエンザの予防接種は受けられましたか？

今年は1年を通してインフルエンザにかかる方が沢山いらっしゃいましたが、インフルエンザが特に流行るこの時期、寒くなり免疫力も低下するのでインフルエンザにかかるないように予防する事が大切になりますね。

また、寒くなるとどうしてもおうちの中にひきこもりがちになってしまいますが、きちんとした食事に適度な運動をして、規則正しい生活リズムを身に付け、心身ともに健康な身体を手に入れましょう。



歯周病の最大の原因といわれる歯垢・歯石。歯フラクションはとても重要ですが、歯石になってしまふと、歯磨きではもう取れないというお話までさせていただきました。では今回は、歯科医院では実際にどのようにして歯石を取っているのか…そしてその後の工程はどうなっているのか…という、普段皆さんが歯科医院で何を使ってどういう処置をされているかという疑問に少しでもお答えできれば、と思います。

歯垢が歯周病の最大の原因といわれる歯垢・歯石。歯フラクションはとても重要ですが、歯石になってしまふと、歯磨きではもう取れないという



そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.co>

SRP(スケーリング・ルートフレーニング)



まず、歯肉の中に付いた歯石を取るには、痛みが生じる事があるのでも、処置する歯と歯肉の間（歯周ポケット）に、ジェル状の表面麻酔を塗布します。

このハンディスケーラーの先は、様々な形があるので、それとの部位に合ったもので歯石を除去していくきます。

その他、歯周ポケット内の歯石とともに、細菌の塊なども同時に除去する事で、歯根の表面もきれいになります。

このハンディスケーラーの先は、様々な形があるので、それとの部位に合ったもので歯石を除去していくきます。

麻酔が効いてたたか、ハンディスケーラーという器具で、歯石を除去します。